

本校の授業改善の取組について

1 目標

- ・「わかる」体験により、生徒の「主体的な学び」を実現するための授業方法の研究。
- ・職員間において、積極的に情報交換や意見交換ができる雰囲気の醸成。

2 内容

- ・教育実習期間（5月下旬～6月上旬）に各自2回程度の相互授業観察を実施し、感想などを記録用紙に記入する。授業終了後、授業者と観察者が意見交換を行う。

3 取組の効果

- ・それぞれの授業者の強みを生かした授業を見学することで、自分の足りない点や改善点に気づくことができた。
- ・同じ教科だけでなく、他教科の授業を見学することで、授業の進め方や板書の工夫、資料作成の工夫などについて新たな気づきがあった。
- ・教科、学年に関係なく、有意義な意見交換や情報交換を行うことができた。

4 今後の課題

- ・他校の取組例を参考にしながら、自校の取組をよりよいものにしていく方法を検討する。